

(電子メール施行)
農 技 第 1588 号
令和 3 年 12 月 16 日

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察防除情報第 5 号を発表したので送付します。

近年の暖冬により、スクミリンゴガイの越冬可能と推定される地域が拡大しているため、未発生だった地域への定着が懸念されます。また、既発生地域では、多くの貝が越冬していると考えられますので、冬期耕うんによる防除の指導をお願いします。

令和 3 年度 病虫害発生予察防除情報 第 5 号 スクミリンゴガイの防除対策（冬期耕うん）について

- 1 対象作物 イネ
- 2 害虫名 スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）
- 3 対象地域 県南部
- 4 スクミリンゴガイについて

- (1) スクミリンゴガイ（写真左）は、春になるとピンク色の卵塊（写真中央）を産んで増殖し始め、田植え直後のイネを食害して（写真右）、秋には水路や水田内の土中に潜って越冬する。低温には弱く、越冬中に死亡する場合もあるが、本県南部では越冬可能となっている（図）。
- (2) 今後 3 か月の気温が平年並に推移する確率は 40%と予想されているが（近畿地方 3 か月予報、令和 3 年 11 月 24 日、大阪管区气象台発表）、越冬場所の土中は温度変化が小さいことから、スクミリンゴガイの被害が発生したほ場では、多くの貝が越冬していると考えられる。
- (3) 本年に発生が見られた地域では、越冬貝数を減らすため、冬期に耕うんを実施することが望ましい。



写真 スクミリンゴガイ（左）とその卵塊（中央）及び被害ほ場（右）

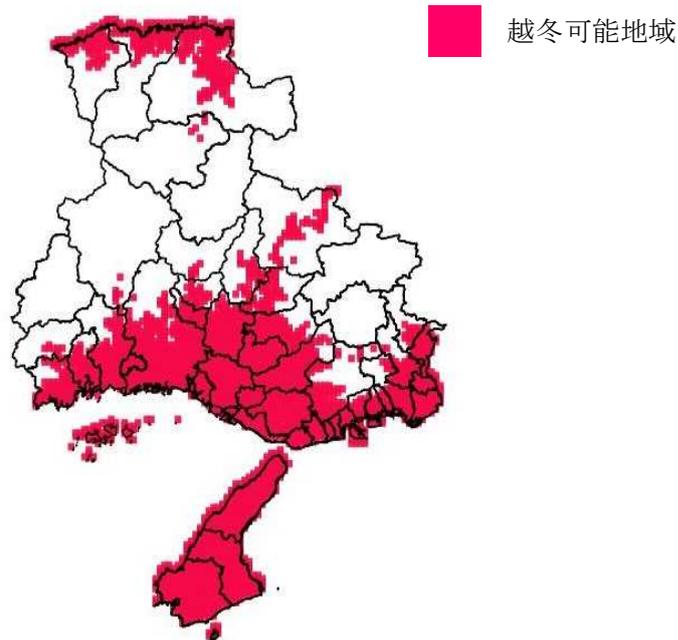


図 スクミリンゴガイ越冬可能推定地域（平年）

メッシュ農業気象データシステムによる気温平年値を用いた。

積算期間は10月1日～翌年3月31日。

低温積算温度(小澤・牧野, 1988)により推定。

※推定された越冬可能地域を示しており、スクミリンゴガイの未発生地域も含まれている。

5 防除対策

(1) 冬期耕うん（貝密度を減らす対策）

冬の土壌が乾燥した頃、地表面を砕土するように耕うんし、殻を破碎して殺貝するとともに、土中にいる貝を掘り起こして寒気にさらすことで凍死させる。なお、スクミリンゴガイは土中の浅いところで越冬するので、耕深は10cm程度で効果が得られる。通常の耕うんでも殺貝効果はあるが、トラクターの走行速度は時速1km程度の低速に、PTO回転速度は2速（高速）にして耕うんすると効果が高い。

(2) ほ場の均平化（浅水管理による食害防止対策）

水稻移植後の浅水管理は被害回避に有効であるが、ほ場内の凹凸があると深い部分で被害を受けることがある。冬期にレーザーレベラーなどで田面の均平化を図り、ほ場内の凹凸を無くすことで効果的な浅水管理が可能になる。

(3) その他

本種による被害を回避するためには、年間を通して防除対策に取り組む必要がある。冬期耕うんを実施したほ場においても小さな貝は破碎できない場合があることや、入水時には場外から新たに侵入する可能性もあることから、移植期の対策（入水口への

網設置や薬剤防除など)の準備を早めに行う。

6 注意事項

トラクターなどの農業機械に付着した泥と一緒に、スクミリンゴガイが他のほ場へ拡散する事例が報告されている。複数のほ場で同一の農業機械を使用する場合は、未発生ほ場から作業を始め、発生ほ場で使用した後は、泥をよく落とし、他のほ場へ持ち込まないようにする。

なお、冬期耕うん、その他の防除対策や本種の詳しい生態は、以下の資料を参照されたい。

- ・スクミリンゴガイの生態と防除～冬季の耕うん～

<https://youtu.be/aeppoxufEcQ>



- ・スクミリンゴガイの生態 (ジャンボタニシ)

https://www.youtube.com/watch?v=oV6kC7_UaS0



- ・病害虫・雑草防除指導指針の参考資料

「3-3 スクミリンゴガイの生態と防除対策」

<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/hyogo>

- ・スクミリンゴガイの防除技術講習会資料

「兵庫におけるスクミリンゴガイの防除対策」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/documents/sukumipowerpoint.pdf>

*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222